

JICA 課題別研修「保健衛生政策向上研修」

JICA Knowledge Co-Creation Program HEALTH POLICY DEVELOPMENT
(2019 年 1 月 21 日～2 月 1 日)

1. 本研修の概要

本研修は、中央政府や地方政府で保健医療政策策定を行う中核的立場にある行政官を対象として、ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)の達成を含めた我が国の保健医療政策策定の歴史と現状を紹介するとともに、参加各国の取組を比較し、相互の学びあいを促進することにより、各国での保健医療政策立案にあたり新たな視座を提供することを目的としている。

2. 実施方法

当研修は平成 14 年度から始まっており、今年度は 2019 年 1 月 21 日(月)から 2 月 1 日(金)の 2 週間の期間で実施し、国立保健医療科学院、JICA 東京センターにおいて、講義や演習、静岡市保健所の視察などを行った。研修の内容は、日本の保健・医療政策、保険システム、母子保健と産科医療、費用対効果、医師確保、医療安全・医療の質の取組みなど、幅広いテーマを取り上げている。本研修の特徴の一つである医療安全・医療の質に関しては、日本医療機能評価機構、聖路加国際病院、静岡県立総合病院などの取組みから学び、KAIZEN・TQM(Total quality Management)の講義・討論、高齢者疑似体験を通じて患者中心・人々中心とは何かを議論し、チーム STEPPS のチームトレーニングを実施してチームワークやリーダーシップについても楽しく考える機会を設けた。研修期間中、参加者は各人がとくに関心のある 3 つのテーマ(保険システム、人材育成、医療安全)のグループにわかれて経験・知識の共有と議論を行い、最終日にはグループ毎に各テーマについての学びを発表し、活発な意見交換を行い、相互の学びを深めた。

3. 参加者

今年はアフガニスタン(1 名)、ガーナ(2 名)、イラク(2 名)、ラオス(2 名)、タンザニア(1 名)、ウズベキスタン(2 名)、ザンビア(1 名)の 11 名が参加した。

【研修風景】

